

令和5年度 保谷中学校 1年生 西東京ふるさと探究学習

地域とともにある学校づくり



単元名： 「西東京市のいいところ再発見！ 私たちの市(まち)のいいところを回って発信してみよう」
(活動名)

- ねらい：
- ① 「探求的な見方・考え方」を働かせ、総合的・横断的な学習を通してよりよく課題を解決する力、社会の中で自己の生き方を見出していく資質・能力を育成する。
 - ② 「西東京ふるさと探求学習」と地域の愛着、地域社会に参加・参画する態度を育成する。
 - ③ 班行動を通して、協力しあいながら、その場に応じた判断力や行動力を身に付ける。



【事前学習】

中学校校入学して初めての校外学習。西東京市の行きたい場所を各班で話し合い、深く知るために事前学習を行いました。



【西東京市めぐり当日】

西東京市めぐり当日は、各班で協力し、東伏見稻荷神社や多摩六都科学館などを実際にみて、西東京市を再発見しました。



【下野谷遺跡】

西東京市とタイアップし、当日は市の職員の方の説明を受けました。



【事後学習】

各班でタブレットを用いてスライドショーを作成し、土曜公開授業で発表をしました。多くの保護者の方に参観して頂きました。

まとめ

事後アンケートの「楽しかった、充実したこと」の項目では、「下野谷遺跡を実際に見たこと、話が聞けたこと」と答えた生徒が84名(全体の60.9%)もいました。実際のところ、東伏見から保谷、田無地区まで、楽しみながらも真剣に探索する姿を見ることができました。

事後学習では、普段暮らしている西東京市をより詳しく、より深く調べ、スライドショーを使用して西東京市の様子を班で楽しそうに発表し、ふるさとの魅力を再発見することができました。